

令和6年度第3回 学校運営協議会 議事録

校名	府立みどり清朋高等学校
校長名	藤原 隆志

開催日時	令和7年2月3日(月) 11:00~12:45
開催場所	みどり清朋高等学校 大講義室
出席者(委員)	勝山会長、木下副会長、山口委員、高田委員(オンライン)
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席、首席・生徒指導部長、教務企画部長、進路指導部長、保健部長、第1学年主任、第2学年主任、第3学年主任
協議資料	学校運営協議会 実施要項 第2回授業アンケート結果、令和6年度学校教育自己診断結果 令和6年度学校評価(案)、令和7年度学校経営計画(案) 令和6年度重点目標及び達成目標・具体方策

議題等

1 令和6年度第2回授業アンケート結果、令和6年度学校教育自己診断結果について  
第2回授業アンケート

第1回のアンケート結果から、すべての項目で数値が上昇した。すべての項目で過去最高値となっている。個々の先生方の授業力向上の取り組みが功を奏していると考えている。次年度はリーディングGIGA研究校として最終年を迎える。取り組みとして、すべての教科で1回、1人1台端末等のICT機器を活用した公開研究授業を実施したい。ICTを使うことが目的ではなく、分かる授業を実現する取り組みを継続して行っていきたい。

学校教育自己診断結果

【生徒】肯定率80%以上の項目が23項目あり、前年比10%以上UP、DOWNした項目はなく、良好な結果が並んでいる。

「6:コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている。」肯定率93.7%「29:学校は1人1台端末を効果的に活用している。」肯定率92.9%で、リーディングGIGA研究校としての取り組みが順調に行われている。「8:授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある。」肯定率87.2%で、昨年度より約7%上昇。新教育課程の趣旨を踏まえた授業が行われていることと判断している。「7:教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい。」肯定率80.2%で、昨年度より約4.5%上昇。生徒の授業に対する評価は高い支持を得ている。

気になるデータは、「10:家庭での予習・復習など学習時間を確保している。」で、肯定率50%。家庭学習の習慣をつけさせることが必要。自習室・図書館等で勉強している生徒もいると考えられる。

【保護者】肯定率80%以上の項目が11項目、肯定率50%以下の項目が3項目であった。この3項目のうち1つは「7:子どもは、家庭での予習・復習など、学習時間を確保している。(42%)」で、生徒の自己評価と同様の結果が得られた。これらのデータから、生

徒の2人に1人は、ほぼ家庭学習の習慣がないと見ている。いかに家庭学習の習慣をつけさせるか、生徒への働きかけが必要である。

## 2 令和6年度学校評価（案）について

今年度の達成状況の説明。おおむね良好な結果が得られている。授業力向上に向けた取り組みの成果や、授業において、発表したり、論理的思考力・判断力・表現力を育成できる機会が増えてきたことから、確かな学力の育成・課題解決力の育成が十分できていると判断している。地域貢献力の育成については、地域貢献部が中心となり、地域の方々と毎月交流する機会を持ち、恩智川の清掃活動（クリーンウォーク）をはじめとする地域の清掃活動を行っており、東大阪市役所との連携も図れている。治水緑地の清掃活動（クリーン活動）は、1年生2年生全員がHR活動の一環として取り組んでおり、次年度も継続して行っていきたい。

一方、目標に届いていない項目については、対応を考えたい。ホームページの更新については、学校として組織的に情報発信していける体制を構築したい。

## 3 令和7年度学校経営計画（案）について

次年度は、まず重点目標の達成をめざし、さらなる地域との連携を充実させる。今年度実施したスケアードストレイト技法を用いた交通安全教室は好評であったので、次年度も継続実施し、多くの地域の方々にも参加していただけるようなものにしたい。最終年を迎えるリーディングGIGA研究校の取り組みでは、ICTを活用したわかる授業の取り組みを他校に発信していく。リニューアルしたHPを活用することで、学校の特色を発信し続ける組織体制を作る。

今回の計画に追加した部分は、海外姉妹校の提携と英語教育のさらなる充実をめざすこと、学校の魅力や特色を考える組織の体制づくりを行うことの2点である。海外姉妹校の提携は教育庁とも協議しながら進めていきたい。

### 協議内容・承認事項等（意見の概要）

#### 1 令和6年度第2回授業アンケート結果、令和6年度学校教育自己診断結果について

○授業アンケートの結果からは、全項目で良好な結果が得られており、目標は達成されている。

○学校教育自己診断の結果から、肯定率が低い項目である「生徒の家庭での学習時間等の状況」「学校HPを活用した情報発信」については、次年度に向けて新たな取り組みを行ってほしい。

○今年度、学校HPのリニューアルを実施され、HPが見やすくなった。次年度は、このHPを活用した学校からの情報発信について、受信者側の対象の設定や発信内容などの整理が必要である。発信方法もSNS活用したものも検討してほしい。

○「こども保育専門コース」での保育実習、近隣の園との連携・交流、地域貢献部の生徒を中心とした地域イベントへの参加や清掃活動などが昨年以上に行うことができている。「地域に根ざし、地域とともに歩む学校」を掲げられているので、継続して実施していただきたい。

○地域交流活動として、恩智川の清掃活動（クリーンウォーク）治水緑地の清掃活動（クリーン活動）や池島音楽祭などの地域イベントに参加。次年度も継続して行っていただきたい。

○遅刻者数のアンダー1000の目標については、もともと達成させることが難しい目標値であるように思う。全体の遅刻者数は減少してきており、指導の成果は表れているのではないかと。

○学校教育自己診断「授業はわかりやすい」についての肯定的意見が増加しているにもかかわらず、家庭学習時間の確保の数値が伸び悩んでいるのが重要な課題であり、原因を分析し、今後も授業の改善に取り組んでいく必要があるため、先生方の更なる授業力向上の取り組みや生徒への働きかけを行っていく組織を作ることが急務である。

○交通安全運動の取り組みとして、スケアードストリートを実施。地元警察、地域住民参加のもとでの実施ができた。次年度も継続して行っていただきたい。

## 2 令和6年度学校評価（案）について

○今年度の重点目標について、評価基準としている学校教育自己診断の結果は良好。目標値を上回るか、または昨年度並みの数値を堅持している。特に、授業力向上や主体的・対話的で深い学びの実践の各項目については、目標値を大きく上回っており、全体として学校経営計画は達成されている。

○令和6年度学校評価（案）は全会一致で承認された。

## 3 令和7年度学校経営計画（案）について

○今年度実施した事業について、一部削除された項目はあるが、それ以外の項目については全体として目標値を現状維持レベルに設定した計画とされている。元々、各項目については、目標を高く設定しているため、次年度もその目標達成に向けて学校としての取り組みに全力を注いでいただきたい。広報活動について推進していく組織体制が作られており、肯定率回復に期待したい。地域との交流活動については、継続した取り組みの実施をお願いしたい。

○令和7年度学校経営計画（案）は全会一致で承認された。

### 次回の会議日程

日時	令和7年6月19日（木）14：00～15：30
会場	みどり清朋高等学校 大講義室